

「中園町周辺地区」都市再生整備計画 事後評価委員会  
議事録

日時：令和7年12月18日（木） 10：30～12：00

場所：山口市役所 101 会議室

出席者

委員： 3名（委員A～Cと表記）

事務局： 4名

計7名

議事 1. 「中園町周辺地区」都市再生整備計画の事後評価

協議（質疑）内容	
(委員C)	<p>指標2のイベントの回数について、私は日々、YCAM（山口情報芸術センター）や中央公園の周りを見ているが、利用される市民の方が最近が増えてきたと感じている。特に、お子様連れの家族が芝生の上にシートを広げている姿や、時期によっては、中学生や高校生などが山口市立中央図書館で勉強をしており、その合間には目の前の中央公園で遊んでリラックスをして、また勉強に戻るといような使われ方をしており、市民の中にだいぶ定着してきていると思う。イベントに限らず、中央公園が非常に親しまれてきていると感じている。</p>
(事務局)	<p>⇒ 今回は定量的な指標としてイベントの回数を設定したが、日々の活用・管理も含めて、市民の方々が利用しやすい環境へ、今後も整えていく必要があると感じている。</p>
(委員A)	<p>指標2のイベントの開催回数の計測方法について、対象としたイベントや参加人数の規定等はあるのか。</p>
(事務局)	<p>⇒ 大小様々なイベントがある中で、不特定多数の方を対象にしたイベントをカウントしている。例えば、家族写真撮影会のような申請もあるが、そういったものは除外し、誰でも参加できるようなイベントを対象とした。</p> <p>大規模イベントについては、公園内に設置した電源設備や給排水設備を活用したイベントも行われており、公園を管理する都市整備課としては、使い方の幅が広がったということで、今後イベントの利活用が増えることを期待している。</p>
(委員B)	<p>済生会としては、補助金をいただき病院を建て替えをさせていただいた。旧建屋の景観に問題があり、まちなかにふさわしくない状況であったが、いまはより明るい雰囲気となっており、周辺地区と調和のとれた建屋ができたのではないかと考えている。</p> <p>今後は駐車場の移転も予定されており、完成後は周辺施設の活性化に寄与できるのではないかと考えている。</p>
(委員A)	<p>病院には多くの人々が目的地としてくるので、道路幅員を広げたりバス停を移動したりと、これに関連した交通事情の問題点は今のところないか。</p>

(事務局)	<p>⇒ 従前は病院横の交差点には右折レーンがなく、比較的混み合っており、病院や周辺の市立中央図書館、YCAM（山口情報芸術センター）も立地し非常に車が多い場所であったが、病院の建て替えと合わせて、交差点改良を行ったことにより、一定の交通渋滞の緩和や交通安全の向上にも繋がったのではないかと推察している。</p> <p>バス停については、病院に隣接した県道沿いに設置されており、交通状況や周辺建物の利用状況等を見ながら、検討していきたい。</p>
(委員B)	<p>当院の場合は、情報芸術センターのバス停が近所にあり、そこから徒歩で1、2分のところにあるため、いまのところ公共交通に対する問題は感じていない。</p>
(委員A)	<p>今後、交通のピークという波はあると想定されるため、事業がどんどん進んでいく中で、その辺の交通の状況もしっかり見ていた方がいいと思う。</p>
(事務局)	<p>⇒ 都市整備部には交通関係の部署もあるので、そういったところと連携し公共交通の状況を見ながら、より良い形にしていきたい。</p>
(委員A)	<p>中園町周辺地区では公益交流の拠点形成という大目標が市にあると聞いているが、今回病院の再生もしくは公園の機能強化したことによって、評価時点では順調に事業が進んでいるという認識でよいか。</p>
(事務局)	<p>⇒ 定量的な成果としては、病院を建て替えたことによって、紹介率、稼働率も上がり、中央公園の利用者も増えたということで、コロナ禍の中でも横ばい以上の数字が出たということからすると、事業に対して一定の効果があったのではないかと認識している。</p>
(委員A)	<p>紹介患者数÷初診患者数の結果が67.8%というのはかなり高いと思うが、従前値63.0%に対して評価値67.8%と、4.8%上昇している。済生会はみんなが知っている病院であるが、この紹介率が上がるというのは、何か努力して上がったようなものなのか。</p>
(委員B)	<p>放射線機器などの医療機器のレベルが向上し、それによって他のクリニックから難しい撮影を引き受けるたり、心臓血管などにも特化しており、そういったことから紹介率が上がったのではないかと考えられる。</p>

## 議事 2. 今後のまちづくり方策

協議（質疑）内容	
(委員B)	<p>現在新しい病棟が建っており、今後 2027 年 9 月に病棟の横に立体駐車場の建築を予定している。これにより、現在旧山口警察署のところに設けている駐車場が県道側に移るため、中央公園と隣接した場所に駐車場を確保できることになる。</p> <p>あくまで外来患者さんや病棟利用患者さん専用の駐車場であるが、イベントがあった際には利用していただければ、アクセスがより良くなり、今後のまちづくりへの貢献となると思っている。</p>
(事務局)	<p>⇒ 中央公園でイベントを開催する時に公共交通の利用をお願いしているが、実態としてはやはり車の利用が多い。おそらく土日のイベントが多く、土日は病院の診療もなく利用が少ないと思われるため、駐車場を有効に活用できるのではないかと思う。新しい形での施設の使い方が模索できればと思っている。</p>
(委員C)	<p>YCAM（山口情報芸術センター）もイベント時に駐車場で困っているため、立体駐車場の完成は非常に嬉しく期待している。ぜひ使わせていただきたいと思う。</p>
(委員C)	<p>中央公園の普段の利用者も増えてきていることから、さらにくつろげる空間を作っていくことが必要だと思っている。そのためには、年配の方がくつろげるようなベンチの設置と、日陰となるような樹木の育成が必要ではないかと考えている。</p>
(事務局)	<p>⇒ いきなり日陰になる大きな木を設置することは難しいが、将来の中央公園を見据えながら、植樹を植える時は日陰になる樹木を選んだり、ベンチを設置したりする時は利用者がくつろげるような場所に設置するなど、少しずつ利便性の向上に繋がるような整備や、施設の保全をしていきたいと思う。</p>
(委員A)	<p>現状の様式 2-2 では、「多様な世代の交流の場として、中央公園のイベント利用を促進…」と限定的に書いているが、先ほどから出ている日常的な活動やくつろぎの空間といった、市民がゆっくり使うことも含めたニュアンスを入れた方がいいと思う。</p>

(事務局)	⇒ イベント中心に記載しているが、当然整備した施設の中には日常的な使い方も想定している。いただいた意見を参考に追記していきたいと思う。
(委員A)	様式2-2に記載している“周辺地区との相乗効果”というのは、具体的にどういうことを想定されているか。
(事務局)	⇒ “周辺地区”というのは、同じく都市再生整備計画を策定している湯田温泉周辺地区や山口中心市街地周辺地区を指している。イベント等を実施していく中で、湯田温泉での宿泊など連携していけたらと思っている。
(委員C)	実際に伝統芸能祭りが開催された時には、湯田温泉に宿泊され、中央公園を会場として、湯田温泉と中央公園のセットにするというような使われ方もしている。今後もそういうことができるだろうし、こんこんパークもできたので、拠点として使えるかなと思う。そういった流れはあるため、引き続き進めてもらいたいと思う。
(委員A)	中央公園には、湯田温泉側とパークロード沿いのマグネットの役割があるため、今後の取り組みの一つのマイルストーンにしていけたらなと思っている。
(事務局)	⇒ いただいたご意見を踏まえ、追記させていただく。